

2025年10月7日
イオン株式会社
イオンアグリ創造株式会社
イオンリテール株式会社

イオン直営農場収穫米の店頭販売を拡大 直営農場だからできる「価格」で新米販売開始

イオンは10月7日より順次^{※1}、首都圏（1都3県）の「イオン」「イオンスタイル」47店舗にて、イオンアグリ創造が運営するイオン直営農場「イオン埼玉羽生農場」で収穫した新米を販売します。

イオンアグリ創造は2015年から農地中間管理機構^{※2}を活用した米づくりをイオン埼玉羽生農場で行ってまいりました。以来、生産資材の高騰や平均気温の上昇などの課題もありましたが、スマート農業の導入による省力化や経営モデルの見直しを進めたことで、今年から販売店舗を拡大する運びとなりました。販売価格についても、中間コストを削減し直営農場だからできる価格を実現しました。



米づくりは環境保全や生物多様性の維持など、社会的意義の高い取り組みです。イオンでは現在作付面積30haで直営農場の米づくりを行っており、今後はさらに作付面積を拡大する予定です。これにより、地域社会やお客さまへのさらなる貢献を目指してまいります。

【販売概要】

商品名：イオン農場米（彩のきずな、こしひかり、あきたこまち、にじのきらめき）^{※3}

発売日：2025年10月7日^{※1}より順次

販売店舗：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

「イオン」「イオンスタイル」47店舗^{※3}

価格：本体3,980円（税込4,298.40円）^{※4、※5}

規格：5kg

取り扱い量：約80t

- ※1：店舗によって発売日が異なります。
- ※2：遊休農地の有効活用を促進するための仕組みです。
- ※3：店舗により品揃えが異なる場合、また取り扱いがない場合があります。
- ※4：一部店舗では価格が異なる場合があります。
- ※5：単品で購入の場合、税込価格は小数点以下が切り捨てになります。



ご参考

■イオンアグリ創造株式会社 イオン埼玉羽生農場について

イオン直営農場の運営および農産物の生産委託に取り組むイオンアグリ創造株式会社は国内21カ所の直営農場を運営しています。

「イオン埼玉羽生農場」は2010年に4番目の直営農場として開場しました。2015年から稲作を開始し、イオン直営農場では唯一、稲作を行なっています。

埼玉県が育成したブランド米「彩のきずな」をはじめ「あきたこまち」「こしひかり」「にじのきらめき」の栽培をしています。

イオン埼玉羽生農場は、稲作のほか露地ではタマネギやハクサイを、ハウスではキュウリとホウレンソウを栽培するなど、幅広い作物づくりに取り組んでいます。

■販売店舗

(埼玉県)

イオン春日部店、イオン吉川美南店、イオン川口前川店、イオン羽生店、イオン八潮南店、イオンスタイル新井宿駅前、イオンスタイルレイクタウン、イオンスタイル川口、イオンスタイル南栗橋、イオンスタイルせんげん台、イオン南越谷店、イオン熊谷店、イオンスタイル北戸田、イオンスタイル毛呂山、イオンスタイル入間、イオンスタイル与野、イオン浦和美園店、イオンスタイル武蔵狭山、イオンスタイル美園三丁目、イオンスタイル狭山、イオンスタイル上尾、イオンスタイルふじみ野、イオン大井店、イオン大宮店、イオンスタイル入曽駅前、イオンスタイル大宮西口駅前

(千葉県)

イオン八千代緑が丘店、イオン津田沼店、イオンマリリンピア店、イオン船橋店
イオンスタイル幕張新都心

(東京都)

イオンスタイル板橋、イオンスタイル南砂、イオン東雲店、イオンスタイル品川シーサイド、イオンスタイル日の出、イオン東久留米店、イオンスタイルむさし村山、イオンスタイル多摩平の森

(神奈川県)

イオン大和鶴間店、イオン大和店、イオン相模原店、イオン秦野店、イオンスタイル座間、イオンスタイル天王町、イオンスタイル新百合ヶ丘、イオンスタイル東戸塚